

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

第2期山中湖村まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

山梨県南都留郡山中湖村

### 3 地域再生計画の区域

山梨県南都留郡山中湖村の全域

### 4 地域再生計画の目標

本村の人口は、平成17(2005)年までは増加傾向にありましたが、平成22(2010)年から減少に転じています。平成17(2005)年には5,440人であった人口が、令和7(2025)年には251人減少し、5,189人となっています。住民基本台帳によれば令和7年には5,822人となっています。また、国立社会保障・人口問題研究所によれば、令和27(2045)年には平成27(2015)年の人口から約1,182人減少して4,258人に、さらに令和52(2070)年には約2,268人減少して3,172人になると推計されています。

年齢3区分別人口割合の推移をみると、年少人口(0～14歳)の割合は、昭和60(1985)年は23.8%でしたが、その後減少を続け、令和7(2025)年には10.4%となっています。生産年齢人口(15～64歳)の割合は、平成12(2000)年までは6割台後半で推移していましたが、徐々に減少し、令和7(2025)年では52.3%と6割を下回っています。老年人口(65歳以上)の割合は、緩やかに増加し続けており、平成17(2005)年には年少人口割合を上回り、令和7(2025)年には37.3%となっています。

自然増減の推移をみると、平成17(2005)年までは、出生数が死亡数を上回る自然増で推移していましたが、しかし、出生数の減少が年々進み、平成22(2010)年には死亡数が出生数を上回る自然減へと転じており、令和7(2025)年において38人の自然減となっています。合計特殊出生率の推移をみると、昭和58(1983)

年～昭和 62 (1987) 年が 2.00 であるのに対し、平成 30 (2018) 年～令和 4 (2022) 年には 1.66 にまで減少しており、現在の人口を維持するために必要な合計特殊出生率を示す人口置換水準 (2.07) を下回っています。

社会増減の推移をみると、転入者数と転出者数それぞれ増加と減少を繰り返して推移しており、社会増減は 1980 年から大きな変化はみられません。ただし、転入者数は平成 12 (2000) からは概ね減少傾向にあります。令和 5 (2025) 年において 27 人の社会増となっています。男女別・年齢階級別の人口移動の状況を見ると、男性及び女性の 10～14 歳が 15～19 歳になる時の転出超過傾向は、昭和 55 (1980) 年以降継続しています。男性の 15～19 歳が 20～24 歳になる時では、平成 7 (1995) 年において唯一転入超過となっています。この背景には、平成 5 (1993) 年に本村にリゾートホテルである「XIV (エクシブ) 山中湖」が開業し、就業者が増加したことがあると考えられます。女性の 15～19 歳が 20～24 歳になる時では、平成 7 (1995) 年までは転入超過となっていました。平成 7 (1995) 年以降は転出超過に転じています。

このまま人口減少、少子高齢化が進行すれば、地域産業、就業者数の全体的な減少により地域の労働市場が縮小していくといった影響が懸念されます。

本村では、国の長期ビジョンにおける合計特殊出生率と同程度の目標を目指し、令和 12 (2030) 年までに人口置換水準 (人口を長期的に一定に保てる水準) の 2.1 を達成し、以降は 2.1 の維持を目標に人口減少対策の施策を進めていきます。

また、10 代前半～20 代前半の年齢層で人口流出が多くなっている本村の現状を改善し、若い世代の就労の希望を実現するための雇用環境の創出を図るとともに、安心して子育てができる環境も引き続き整え、若年層、子育て世代の社会増を図り、村全体での社会増を図ることを目標とします。

そして、令和 42 (2060) 年には 4,000 人程度の人口を維持するため、村民、行政が一丸となって人口減少対策に取り組めるよう、本計画において以下の 4 つの基本目標を掲げ、各施策を推進していきます。

基本目標 1 安心安全な村民生活を支えるむらづくり

基本目標 2 若者や子どもが夢と希望をもち生き生きと育つむらづくり

基本目標 3 観光産業、地域力活性向上へのむらづくり

基本目標 4 豊かな自然を守り、育み、支えるためのむらづくり

**【数値目標】**

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	住宅への支援が充実していると思う割合（4点満点の平均点）	現状値なし	3.0点	基本目標1
ア	安全・快適に移動できると思う割合（4点満点の平均点）	2.4点	2.7点	基本目標1
ア	災害対策が進んでいると思う割合（4点満点の平均点）	現状値なし	3.0点	基本目標1
ア	交通安全・防犯体制が整っていると思う割合（4点満点の平均点）	現状値なし	3.0点	基本目標1
ア	身体的に健康な状態だと思う割合（4点満点の平均点）	3.1点	3.5点	基本目標1
ア	精神的に健康な状態だと思う割合（4点満点の平均点）	3.2点	3.5点	基本目標1
ア	困ったときに相談できる場所や人があると思う割合（4点満点の平均点）	現状値なし	3.0点	基本目標1
ア	山中湖村は高齢者が生きがいをもって暮らせるまちだと思う割合（4点満	2.5点	3.0点	基本目標1

	点の平均点)			
ア	障害のある人への理解が 村全体で深まっていると 思う割合 (4点満点の平 均点)	2.4点	3.0点	基本目標 1
ア	人権問題を意識している 割合 (4点満点の平均点 )	現状値なし	3.0点	基本目標 1
ア	村政に関する情報が手に 入りやすいと思う割合	現状値なし	70%	基本目標 1
ア	財政力指数 (3か年平均)	1.07	1.07 (維持)	基本目標 1
ア	行政サービスのデジタル 化が進んでいると思う割 合 (4点満点の平均点)	2.4点	2.8点	基本目標 1
イ	山中湖村の子育て支援策 は充実していると思う割 合 (4点満点の平均点)	2.7点	3.0点	基本目標 2
イ	子どもの教育環境が整っ ていると思う割合 (4点 満点の平均点)	<b>【村民】</b> 2.5点 <b>【中高生】</b> 3.0点	<b>【村民】</b> 3.0点 <b>【中高生】</b> 3.5点	基本目標 2
イ	魅力的な生涯学習の場や 機会があると思う割合 (4 点満点の平均点)	現状値なし	3.0点	基本目標 2
イ	魅力的な運動・スポーツ の場や機会があると思う 割合 (4点満点の平均点)	現状値なし	3.0点	基本目標 2
イ	文化・芸術活動の機会や	2.5点	3.0点	基本目標 2

	場があると思う割合（4点満点の平均点）			
ウ	観光消費額	273億円	440億円	基本目標 3
ウ	村内で働ける環境が整っていると思う割合（4点満点の平均点）	2.0点	2.5点	基本目標 3
ウ	農業特産品創出に関して村内に進出した民間事業者等の数	4社	4社	基本目標 3
エ	豊かな自然環境を身近に感じて生活している割合（4点満点の平均点）	現状値なし	3.4点	基本目標 4
エ	山中湖村のまちなみ景観が良好に保たれていると思う割合（4点満点の平均点）	現状値なし	3.2点	基本目標 4
エ	山中湖の利用ルールやマナーが適切に守られていると思う割合（4点満点の平均点）	2.4点	3.0点	基本目標 4
エ	安全な水道水が安定して供給されていると思う割合（4点満点の平均点）	3.4点	3.5点	基本目標 4

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する

特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

ア 安全安心な村民生活を支えるむらづくりに関する事業

イ 若者や子どもが夢と希望をもち生き生きと育つむらづくりに関する事業

ウ 観光産業、地域力活性向上へのむらづくりに関する事業

エ 豊かな自然を守り、育み、支えるためのむらづくりに関する事業

② 事業の内容

ア 安全安心な村民生活を支えるむらづくりに関する事業

●誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、医療・介護・健康・福祉におけるサービス提供体制の充実を図ります。

●地区活動の促進や村民同士の交流の活性化を通じて、地域における支え合い・助け合いの仕組みづくりを進めます。

●豪雨・地震・富士山噴火などの自然災害に備え、防災・減災対策の強化、災害時の支援体制の整備、関係機関との連携協定の拡充・推進などに取り組み、災害に強いむらづくりを進めます。

●利便性の高い道路環境をはじめとする村内インフラの整備・拡充を進め、安全で快適な生活環境の確保を図ります。

【具体的な事業】

- ・健康診査事業
- ・定住化対策事業
- ・防災意識啓発事業
- ・公共交通利便性確保事業 等

イ 若者や子どもが夢と希望をもち生き生きと育つむらづくりに関する事業

●安心して子どもを産み育てられる環境整備や学校教育の充実を図り、次世代を担う子どもの健やかな成長を支援します。

●多様な学びの機会やきっかけを提供し、学んだ成果をむらづくりに活かす仕組みを整備します。

●豊かな感性や創造力を育むために、日常的にスポーツや文化・芸術に親しめる環境づくりを推進します。

●若者が山中湖村で暮らし続けられるよう、生活環境や活動拠点の整備

を進めるとともに、村への愛着を育み、将来にわたって住み続けたいと思える魅力あるむらづくりを推進します。

**【具体的な事業】**

- ・乳幼児等医療費助成事業
- ・学校統合事業
- ・村の文化振興事業 等

**ウ 観光産業、地域力活性向上へのむらづくりに関する事業**

- 自然・文化・歴史などの地域資源を最大限に活かしながら、観光と産業の更なる発展を目指すとともに、新たな産業創出に向けた戦略的なチャレンジを展開し、地域経済の多様化を図ります。
- 民間資本の誘致に向けて、官民連携を強化し、包括的な連携体制の構築を進めます。
- 民間が持つ知識や技術等を活用することにより、廃校施設の新たな価値創造を図ります。
- 地域産業を支える人材の育成と定着を支援し、産業基盤の持続可能性の確保に努めます。

**【具体的な事業】**

- ・観光施設長寿命化リニューアル計画策定・推進事業
- ・創業支援事業
- ・民間事業者との連携による地場産業振興事業 等

**エ 豊かな自然を守り、育み、支えるためのむらづくりに関する事業**

- 山中湖村の豊かな自然を次世代に継承するため、環境保全に対する意識啓発を図るとともに、山中湖に関する調査や湖周辺の自然環境を守るためのルールづくりを推進し、村民・事業者・来訪者が一体となって環境保全に取り組める仕組みを構築します。
- 再生可能エネルギーの普及やCO2の削減、ごみの減量化などを通じて、循環型社会の形成に努めます。
- 廃棄物処理について、広域処理への対応を含め、効率的かつ環境負荷の少ない処理体制を検討します。
- 空き家の有効活用を進め、快適な住環境の形成や地域資源としての活

用等を推進します。

**【具体的な事業】**

- ・山中湖創造協議会運営事業
- ・再生可能エネルギー等の利活用推進・促進事業
- ・景観保全事業 等

※なお、詳細は山中湖村むらづくり計画のとおり

**③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））**

4の【数値目標】に同じ。

**④ 寄附の金額の目安**

1,200,000千円（2026年度～2029年度累計）

**⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）**

毎年度8月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取り組み方針を決定する。検証後速やかに本村公式WEBサイト上で公表する。

**⑥ 事業実施期間**

2026年4月1日から2030年3月31日まで

**6 計画期間**

2026年4月1日から2030年3月31日まで